

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
吉田 美恵子			

講義概要	幼児の発達や興味・関心、生活の流れへの理解を深めながら、幼児が充実感をもって行動できるようなカリキュラム作成をおこない、実践事例との考察や評価に基づき再構成していく過程を学習する。保育課程を作成していく中で発達の連続性や保育者としての役割・責務を把握していく。		
授業計画	1回	教育課程の変遷「幼稚園」 「恩物」中心の保育～「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 学習課題 復習： 予習：告示化されている「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を読み解く	
	2回	保育課程の変遷「保育所」 託児所の始まり～「保育所保育指針」告示化 学習課題 復習： 予習：告示化されている「保育所保育指針」を読み解く	
	3回	教育課程編成の基本 幼稚園教育要領における指導計画の位置付け 学習課題 復習：「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を読み解く 予習：「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を読み解く	
	4回	保育課程編成の基本 保育所保育指針における指導計画の位置付け 学習課題 復習：告示化されている「保育所保育指針」を読み解く 予習：告示化されている「保育所保育指針」を読み解く	
	5回	J.デューイのカリキュラム論 デューイスクールのカリキュラム（幼児の姿） 学習課題 復習：カリキュラムの歴史的変遷 予習：J.デューイについて調べる	
	6回	カリキュラム編成の実際 編成の手順・作成例（サンプル）考察 学習課題 復習：指導計画の流れを把握する 予習：先輩が作成した保育課程を読む	
	7回	教育（保育）課程から指導計画へ 長期の指導計画（年間指導計画） 学習課題 復習：保育理念・保育方針・保育目標について 予習：保育課程から年間指導計画への流れ	
	8回	教育（保育）課程から指導計画へ 長期の指導計画（期案・月案） 学習課題 復習：年間指導計画の確認 予習：年間指導計画から期案・月案への流れ	
	9回	教育（保育）課程から指導計画へ 短期の指導計画（インターンシップ記録からの考察）週案・日案 学習課題 復習：期案・月案の確認 予習：期案・月案から週案・日案へ（インターンシップ記録からのねらいの設定について）	
	10回	模擬保育と反省・評価 こどもの育ちを確かなものにする、創意工夫された指導計画立案と実践 反省・評価による指導計画改善	

	<p>学習課題 復習：部分指導案記入・チェックシート 予習：部分指導案作成と模擬保育にむけて</p> <p>11回 認定こども園の保育計画</p> <p>認定こども園制度の内容と指導計画</p> <p>学習課題 復習：模擬保育の反省、計画改善 予習：1号・2号・3号認定のこどもの保育時間と内容の違い</p> <p>12回 保育課程作成</p> <p>こどもの年齢別担当 養護・教育・食育・支援教育を分担 保育課程内容をパソコン入力</p> <p>学習課題 復習：保育理念・保育方針・保育目標について 予習：こどもの年齢と発達</p> <p>13回 保育課程作成</p> <p>こどもの各年齢の記入内容における接続を考察 パソコン入力</p> <p>学習課題 復習：担当年齢記入の見直し 予習：次回の記入内容の検討</p> <p>14回 保育課程作成</p> <p>こどもの各年齢の記入内容における接続・学びの連続性を考察 パソコン入力</p> <p>学習課題 復習：担当年齢の記入の見直し 予習：次回の記入内容の検討</p> <p>15回 評価の意義と方法</p> <p>計画 ⇔ 実践 ⇔ 反省・評価 ⇔ 改善 の循環性を持って保育の質を向上する</p> <p>学習課題 復習：保育課程完成 予習：</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①教育・保育課程の変遷を理解する</p> <p>②教育・保育課程の構成を理解する</p> <p>③指導計画編成の手順を理解し作成することができる</p> <p>④こどもの発達を見通したカリキュラムの作成ができる</p> <p>⑤評価の意義と方法を理解し、カリキュラムを改善することができる</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：関連資料を適宜活用する</p> <p>参考書：『対話的保育カリキュラム上・下』 加藤繁美 著 ひとなる書房 『幼児理解と評価』文部科学省 『旧保育所保育指針』厚生労働省</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	実習巡回・会議などの他は、授業後PM6:00～随時対応する
備考・メッセージ	毎回パソコン使用